研究タイトル：19世紀英国詩人 Samuel Taylor Coleridge と英国社会や文化

掲載不可

氏名：	野中　美賀子　／NONAKA Mikako	E-mail：	mnonaka@kochi-ct.ac.jp
職名：	講師	学位：	修士（文学）
所属学会・協会：	日本英文学会、イギリスロマン派学会、映像メディア英語教育学会他		

キーワード：	コウルリッジ、ロマン主義、19世紀英国、映像英語教育
技術相談 提供可能技術：	・英語文献講読 ・各種英語検定対策 ・映像英語教育

研究内容：

◆研究概要

これまで継続して19世紀英国ロマン主義詩人サミュエル・テイラー・コウルリッジの詩作品における「超自然と夢幻」について研究してきた。

「老水夫行」について、William Wordsworth の考えと比較しつつ、超自然を描くことへのコウルリッジの考えを明らかにした。次に、この 2 詩人の考えの相違がどれほど「老水夫行」の改訂に影響を与え、どのような効果をもたらしているのかを考察し、改訂には超自然の描写における表現方法のコウルリッジの実験的試みの可能性と限界が示されていると結論付けた。

「クリスタベル」については、クリスタベルとジェラルダインとの関係を分析することにより、現実と夢幻との密接な関係性を明らかにした。また別の論考では、コウルリッジの深層心理にあることを前提とするエディプス・コンプレックスの視点から、幻想の疑似家族を考察した。

「クブラ・カーン」については、コウルリッジの想像上の東洋像が 2 項対立を用いて表象され、西洋とは異世界の東洋に対して肯定と否定の両義的認識が“Xanadu”の描写に投影されていることを論考した。

近年では、コウルリッジの文芸活動に影響を与えた19世紀英国社会や文化について、以下のことを論考している。印刷業、出版業、書店業が未分化であった19世紀英国の出版事情が彼の文芸活動にどのような影響を与え、彼の著作物がどのような出版経緯を辿ったのか。また19世紀英国政府の政策へコウルリッジはどの程度の反感を抱き、彼と Robert Southey は新大陸アメリカで理想共同体 Pantisocracy を設立することを計画したのか。そしてその計画はどのような経緯で頓挫したのか。

circa 1800: English poet and philosopher Samuel Taylor Coleridge (1772 - 1834). Original Publication: From an engraving by R Woodman. (Photo by Hulton Archive/Getty Images)

◆研究テーマと成果

・コウルリッジの詩作品における「超自然と夢幻」
・コウルリッジと19世紀英国出版文化
・理想共同体 Pantisocracy 設立の計画と頓挫

提供可能な設備・機器：

名称・型番（メーカー）	